

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス彩		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	PTなど専門性のある職員を配置している。	PTなど専門性が高い職員も普段の活動から児童に関わることで児童の特性を多角的に捉え、支援に繋げている。	今後も引き続き親子参加型のイベントを実施していくことで保護者の方との情報共有や連携を図っていききたい。
2	活動内容が固定化されないよう様々な活動を実施している。	集団活動が苦手な児童もいるが、強制するのではなく集団での活動に少しでも参加出来るよう支援をしている。	児童一人ひとりの特性をより理解していけるよう、職員間の連携・コミュニケーションを強化していく。
3	様々な場所に外出し、色々な体験や経験が出来る。	毎月一回イベントや外出の為のミーティングを開催している。	今後もミーティングを継続し、より多くの児童が楽しみながら学びや体験・経験できるような外出を続けていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	感染症などへの対応・対策	感染症などの意識・知識に課題がある。	内部研修の実施と合わせて、外部研修も活用していく。
2	保護者様や学校等との情報共有がまだ十分に出来ていないことがある。	当施設以外の児童と関わりのある社会資源と関わる機会が少ない。	保護者様や学校と送迎時や連絡帳、ケース会議の機会を活用し連携を図っていく。
3	今後の課題として当事業所を卒業した児童が障害福祉サービスを利用する場合にどう情報を共有していくか。	これまでは該当児童がいなかった為。	他事業所や地域の社会資源となりうる施設や事業所との繋がりを作っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス彩

公表日 令和6年12月5日

利用児童数 30

回収数 21

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	8	1			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	3				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	2				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	0				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	0				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	0				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	0				
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	10	1		大勢ひとがいると落ち着かないので今のままが良い。無理に機会を作る必要性を感じない。	他の放課後デイサービス事業所と繋がりを作り、少人数から交流を増やしていきたいと考えています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	0				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	0				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	2				
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	19	2			いつも配慮・支援してもらっている。あまり連絡帳を見れない時がある。	今まで以上に保護者様との連携を図り、利用者様の状況や課題を共有していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1			もう少し面談があっても良い。	面談は5月～6月と設けているが、希望があれば随時受けております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1				
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21	0					

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	0				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	2				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	2				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	0				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	0			毎週楽しく通っている。帰りの際、友達と仲良くしているのを見て嬉しい。	彩に来ることが楽しみになる活動を考え、毎日新鮮な気持ちで楽しんで楽しんでもらえるよう努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1			毎回の活動が頭と体を使っていて面白い。送迎の際にその日の様子を伝えてもらえて嬉しい。反抗期中なので貴重な場所になっている。	利用者様だけではなく、保護者の皆様にも安心して通える居場所づくり、職員との関係づくりをしていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス彩				公表日	令和6	年	12月	5日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	スペースを区切り、利用者様が過ごしやすい環境を作っている。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	利用者様が安心出来る人数の配置を行っている。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	8		施設が2階に位置する為、階段を上らないと利用が出来ない。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0						
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	朝礼・昼礼、ミーティングで活動や支援を振り返り、課題を共有して次の目標を見つけ取り組んでいる。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	アンケート結果を共有し、職員同士で話し合い改善に向けて取り組んでいる。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	改善出来るところから取り組んでいる。					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	外部講師を招いての研修や、職員が受講した研修内容をミーティングで共有するなどしている。					
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	保護者様からのニーズや、実際に起こった事例などから作成をしている。					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0						
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1						
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	職員全体で話し合って立案をしている。					

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	同じ活動にばかりにならないよう職員同士で話し合っていて決めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個々の得意・不得意に合わせて参加の仕方を工夫して実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	朝礼・昼礼を必ず実施して、その日の活動・役割を決めてから支援に入っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	利用者の様子を共有する等振り返りの時間を設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	利用時に毎回記録を取り、課題を共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	半年に一回モニタリングを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	活動に偏りが出ないように職員間で話し合っていて活動を決めている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	8	0		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児童発達管理者が対応している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	保護者様との連絡をごまめに行い、学校の年間行事等を把握している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3		保護者様や相談員からの情報共有のみで、実際に保育園等の施設との連携を取れていなかった。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	5		相談員を通じて児童の情報共有は行ったが、実際に施設等とのやり取りは行っていなかった。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	電話や来所をしてもらい相談をしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	児童館や公園等様々な児童がいる施設へ行き交流の機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	7		管理者のみが参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	連絡帳や送迎時、電話にて利用者様の様子を共有して支援に当たっている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	彩での支援方法や利用者様の様子を共有し、家でも実践出来る方法を一緒に探している。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に必ず説明し、質問等にも応じている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	連絡帳や送迎時、電話での相談に応じている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	年に一回の茶話会や保護者様が参加イベントを開催している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情受付窓口を設けて、対応に当たっている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	お便りやLINE等を活用し、イベント等のお知らせや報告を行っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報に記載されたものは全て鍵のついた棚で保管している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	絵カードや写真を用いて伝わりやすい方法を模索している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	イベントで地域のお店をまわったり、買い物に行く等の交流を図っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	ミーティング等で情報共有をしている。またロールプレイを実施し、体験・経験をする機会を設けている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	ミーティング等で情報共有をし、災害時への対応に対するロールプレイを実施している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	お菓子等のアレルギーチェックを職員2人体制で毎日行っている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ミーティングでロールプレイをする等、職員全体の課題として捉え今後の対応に生かせるよう取り組んでいる。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	年に二回以上虐待に関する研修を実施し、情報共有している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	職員間、保護者様、相談員と相談し、了承したうえで実施について決定することを放課後等デイサービス計画に記載している。	